

「自立」のための学びの大切さ

校長 中村 太一

今年度の3年生について、20名全員の進路先が内定しました。就職、進学など、それぞれの進路は分かれますが、卒業後もふるさとへの愛着や関心を忘れずに、それぞれの場所で活躍してくれることを期待しています。

さて、先日ある雑誌に次のような記事を見つけました。それはNPO法人が、子どもの「生活技術に関する調査」の結果を公表したものでした。

それによると、正しく「卵を割る」ことができた子どもの割合は、小学校6年生が75.4%、中学生が74.9%、高校生が75.1%。また、日本茶を急須で正しく入れることのできた割合は、小学校6年生で74.6%、中学生で64.2%、高校生で75.1%でした。上の2つのことを小学校高学年以上の約4分の1が「できない」という結果に驚きました。調査を行った団体は、家事に全く子どもが関わらない家庭の増加やペットボトル飲料の普及などによる生活スタイルの変化が主な要因と分析しています。

正しい生活技術というものは、日本人の長い生活経験から形成されてきたものだと言えます。

3年生の多くが、卒業後親元を離れ、「自立」した生活を始めることとなりますが、ここで、上に述べた生活技術が必要になります。食の面では、コンビニ食や外食ばかりではなく、栄養のバランスを考え時には自炊をすることも必要です。また、部屋の掃除や洗濯、家賃や公共料金の支払い等、自分の身の回りのことは全て自分でこなさなければなりません。

高校の英語教師から家庭科の教師に転身した南野忠晴さんは、その著書の中で「自分のことを自分でできるようになる」ことを「生活的自立」と呼んでいます。「生活的自立」は親元から離れた段階からスタートするのではなく、家庭での「ふだんの手伝い」を通じて徐々に育まれていくものです。洗濯物をたたむ、風呂の掃除をする、食器を洗う、土日の休みの日はたまには家族みんなのお昼ご飯をつくるといった日頃の手伝いの経験が、知らず知らずのうちに「生活的自立」を養っていくものだと思います。保護者の皆さん、ぜひこの冬休みには子どもたちに家の手伝いをさせてください。また、生徒の皆さんも積極的に洗濯や掃除、食器洗い等の手伝いをしてほしいと思います。

更に、自立は上に述べた「生活的自立」だけではありません。南野さんは、他に「物事の最終判断を自分でくだしそれに責任が持てる精神的自立」、「収入に応じて支出を管理し見通しを持った生活ができる経済的自立」、「良好な人間関係を作ったり、他人と交渉したりすることができる社会的自立」をあげています。

高校での学びは「社会に出るために必要な力を身に付ける最後の機会」です。上の「日頃から家庭で手伝いをする事」に加え「豊高生（高校生）として、自分の行為について善悪の判断を下し、そのことに責任を持つこと」「親からもらったお小遣いをきちんと管理すること」「級友と良好な人間関係を築くとともに、ボランティア等を通じて世代の離れた人ともうまくコミュニケーションがとれるようになること」等は、普段の高校生活を意識して過ごすことで身に付けることができます。

3年生のこれからの人生に幸多きことを祈るとともに、1、2年生の生徒諸君には、ぜひ「自立」を意識した学校生活を送ってくださることを願います。

◎豊高祭

10月27日（日）、パールドームにおいて第43回豊高祭を開催しました。「新時代の幕開けに刻め～60人の最高のアオハル～」のスローガンのもと、体育祭の部では青ブロックと黄ブロックがどちらも互角の素晴らしい戦いを見せてくれました。文化祭の部では、各クラスや有志に分かれ、個性あふれた見応えのあるパフォーマンスを披露してくれました。

◎豊高祭写真集



10～12月学校行事の報告

芸術鑑賞会：10月3日



長崎出身の落語家、三遊亭らっ好さんをお迎えして、落語を鑑賞しました。親しみやすい内容で落ちも面白く、生徒たちにとって忘れられない体験になったようです。

郷土学習：10月30日、11月6日、28日

今年度も3日間にわたり郷土学習を実施しました。



1日目(10/30)は、対馬観光ガイドの会やんこもの小島武博様に、対馬の地理的な特徴や歴史文化交流の特色、宗家の歴史を教えてくださいました。

2日目(11/6)は、校外郷土学習として下対馬地区を巡り、お船江跡や万松院、上見坂公園を含む8箇所を見学し、対馬の歴史や魅力について学びました。



3日目(11/14)は、島おこし協働隊4名の方にご協力いただき、対馬の課題を協議し、今後の対馬について提言を行うという目



的でグループワークを行いました。様々な意見が出され、実りある話し合いになりました。

歳末助け合い募金運動：12月4日～6日

生徒会役員が校内およびサイキバリュウ豊玉店で募金活動を行いました。募金総額は19,625円で、全額を長崎県共同募金会に寄付しました。ご協力いただいた皆様、有難うございました。

表彰 税に関する高校生の作文
 厳原税務署長賞

「日本と世界を繋ぐ絆の証」2年 島本侑奈
 対馬納税貯蓄組合連合会会長賞
 「国のためにできること」2年 西尾優里

～1月の行事予定～



8日	始業式・1、2年課題テスト
9～10日	あいさつ運動
14～17日	1、2年三者面談
15日	百人一首大会
17日	漢字能力検定
18日	1、2年進研記述・基礎力診断・実力診断
20日	1、2年就職ガイダンス
24、27、28日	3年学年末考査
25日	実用技能英語検定
28日	2年島内企業訪問
31日	耐寒強歩大会・PTCA支援活動